

〒098-2501  
北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地の1  
電話 01656-5-3044 FAX 01656-5-3838  
e-mail otokoh@seagreen.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www.otoneppu-h.ed.jp/

## 『新年度にあたり』

校長 **まつ だ けい すけ**  
**松 田 圭 右**

厳しい冬の寒さにも別れを告げ、雪解けも確実に進み暖かな春の日射しに包まれる中、平成30年度がスタートいたしました。保護者並びに村民の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

私は平成30年4月1日付けで本校に着任いたしました。

本校は、村立の工芸科専科の高等学校として、北海道全域そして道外からも多数の生徒が集い、寮生活のもと恵まれた自然の中で「もの（作品）づくりを通じた人づくり」教育を実践しており、美術・工芸での教育実践、文化系・体育系の部活動において輝かしい成果をあげております。これらの活動は、村が総合戦略に「おとねっぶ美術工芸高等学校」を掲げ、寮の大幅改修、課外活動への援助など様々な支援をして頂き、そして何よりも村の方々がいっつも温かく応援してくださっているおかげであります。

さて、今春、本校には37名の新入生が全道・全国から、それぞれの夢を胸に本校に入学して参りました。教職員、先輩達と共に本校での生活を応援して行きたいと考えております。そして、本校116名の生徒たちには、「授業を大切に」して確かな学力を身につけること。校訓「HEART AND CREATION」のもと、勉学・創作・課外活動バランス良く取り組むこと。「おと高生」として恥ずかしくない行動をとることをお願いしたところでございます。生徒たちが夢を目指して努力し続け、立派な「大人」へと成長することをを期待し、全職員で指導・支援をして参ります。

これからも、音威子府村、そして、皆様のご支援をいただきながら、職員一同「すべては生徒のために」の思いを持って努力してまいりますので、皆様の変わらぬお力添えを心からお願い申し上げます。



音威富士山頂からの村中心部 (4/14撮影)

## 総務部長 より

かわぞえ りゆういち  
**川 添 龍 一**

少子高齢化、AI技術の劇的な進展等により、社会が転換期を迎えています。高校教育もこのような社会情勢に対応できる力をつけるべく、学び方の転換を求められています。

さておと高は、2年後に創立70周年の節目を迎えます。変化の激しい時代ですが、教職員一同、これまでの諸先人が築き上げた校風を引き継ぎつつ、多くの方々からより厚い信頼を得られる学校へと成熟を迎えられるよう、一丸となって取り組んでまいります。工芸をとおした人づくりを一層充実させるためにも、今まで以上に地域や保護者の皆様のお力添えをお願いいたします。

## 教務部長 より

もりした あきひと  
**森 下 瑛 仁**

子どもたちが意欲的に学ぶ事ができる「環境づくり」に努めることが、教師の責務であり、それを取りまとめるのが、教務としての役割だと考えています。

学びの意欲とは、学習内容や指導法の改善だけではなく、「認められ、ほめられることの喜び」、「失敗してもやりなおせる安心感」、「わかりあうことや、つながりあうことの楽しさ」から生まれてくるものではないでしょうか。

特色ある学校の中で、子どもたちがいきいきと過ごすことができる、そんな学び舎を作るべく尽力してまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

## 生徒指導部長 より

たなはし えいじ  
**棚 橋 栄 治**

変わりゆく世界の中で叫ばれ続けていくであろう「世界平和」や「生命の尊重」。我々がこの実現とその関わりについて考える時、大切なのが「健康」と「安全」だと思います。「平和ぼけ」という言葉を耳にすることがありますが、実は「安全ぼけ」にも十分留意が必要であることを認識しなくてはなりません。少子高齢化、IT化社会の進行等による直接的な人間関係の減少や価値観・個性の多様化、それに伴う様々な危険に身をさらしていることを理解しなくてはなりません。安全の先に健康、健康の先に生命尊重、生命尊重の先に世界平和。大げさな言い方のように受け取られるかもしれませんが、生徒達が日常生活を送る中で、健康と安全について良く考え、より望ましい判断ができるよう、成長を保護者の皆様と共に後押ししていきたいと思っております。

## 進路指導部長 より

いけだ のりお  
**池 田 教 朗**

喜ばしいことに、今年度37名の新入生が入学しました。本校で一生懸命に学んで、卒業後次のステップに気持ち良く進んで欲しいと願っています。さて、進路活動は3学年のものと思われがちですが、実は1学年のときから始まっています。1年生からの成績、出席日数、部活動における活動などが積み重なり、それをアイテムとして就職できたり進学できたりします。本校全ての生徒達にはぜひ凡事徹底を意識して学校生活を送り、自分が進みたい道を決めたときにスムーズに進めるよう望んでいます。生徒達が本校に来て羽ばたけるよう、今後とも地域や保護者の皆様の本校の教育活動へのご協力をお願いいたします。

## できごと

### 《着任式・始業式》



今年度、松田校長先生と西山公務補さんを迎え、気持ちも新たに新学年がスタートしました。それぞれが進級して、少し大人になっ

て、昨年度とは違う自分を感じながら、目標に向かって成長していってくれるものと思っています。

### 《入学式》

4月10日には37名の新入生を迎えて、今年度のおと高生は116名になりました。全員寮生活をしながら、苦楽を共にしていきます。若き力に応援をよろしく願います。



### 《対面式》

13日には、生徒会主催の新入生と2・3年生が顔を合わせる対面式が行われ、部活動紹介では新入生達が真剣に聞きました。このあと自分の入る部活を決めるために体験入部を経て、4月19日の部活動確定集会で入部先を決めました。各部で自分を磨く1年間が始まります。



# 行事

- 5月 6日 帰寮日
- 7日 全校集会
- 12日 寮\_新入寮生歓迎会
- 17日 生徒総会
- 23日 寮\_避難訓練
- 25日～27日 高体連集約大会
- 29日 生徒総会(学校祭関係)
- 30日～6/1日 宿泊研修(1年)
- 6月 7日 木の手づくり展(旭川) 搬入
- 8日～10日 木の手づくり展(旭川)
- 11日 教育実習開始(～29日)
- 14日 地区別懇談会(音威子府)
- 16日 地区別懇談会(札幌)
- 17日 地区別懇談会(旭川)
- 20日～22日 前期中間考査
- 7月 1日 運動会(村民運動会)
- 2日 振替休日
- 21日・22日 学校祭
- 23日 全校集会
- 24日 帰省日
- 8月16日 帰寮日



## 子ども種痘支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・シブコなど家庭教育に関する悩みと相談してください。

### ●電話相談

0120-3882-56

(無料、毎日24時間対応)

### ●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

### ●来所相談

(10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

#### 子ども種痘支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話番号で予約ください。

センターのWebページに「子ども種痘支援センターへの種痘案内」を掲載しています。次のURLからご覧ください。

URL <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>